



特別支援教育だより

第2号



令和7年5月14日(水)

発行:南城市立佐敷小学校

TEL:098-947-6212

校長:慶田盛元

担当:特別支援教育コーディネーター(古門)

5月も半ばを迎え、さわやかな風が心地よい季節になりました。ゴールデンウィークも終わり、1年生も5校時がスタートするなど新しい環境にドキドキしながらも、少しずつ学校生活にも慣れてきたころかと思います。新しい環境に慣れてくると同時に、体も心も疲れやすくなって来る時期でもあります。ぜひ、お時間のある時には、お子さんの学校での出来事や感じていることなど、ゆっくり耳を傾けてみてください。

今回の「特別支援教育だより」では、次年度(R8年度)の就学手続きについてのお知らせを掲載しています。ご不明な点や心配なことがありましたら、お気軽に相談ください。

～お子さまの「気になること」はありませんか?～



子ども達は、一人ひとりに得意なところや苦手なところがあります。子ども達が安心して日々を過ごせるよう、苦手なところに必要に応じた支援を行い、子ども達の可能性を最大限に伸ばすことを目指します。

お子様の生活面や学習面で気になることがありましたら、担任・特別支援コーディネーターまでお気軽にご相談ください。

☆裏面に続きます



～就学支援の手続きが始まります～



毎年、この時期(5月下旬～7月下旬)は、次年度の就学を考える、見直す、申し込む「就学支援」になります。

「就学支援」とは、児童の障害や特性等から様々な面での困難さを改善・克服するために、児童に適した「学びの場」を考えて手続きするものです。(開始は次年度からとなります。)

就学先として「特別支援学校」「特別支援学級」「通級指導教室」が挙げられます。

佐敷小学校では、南城市の就学判定会議(8月～)に向けて、児童と担任、保護者とで現在の児童の実態や困っていること、課題に気づき、「児童にとって最適な学びの場」を考える校内就学支援会議を行います。

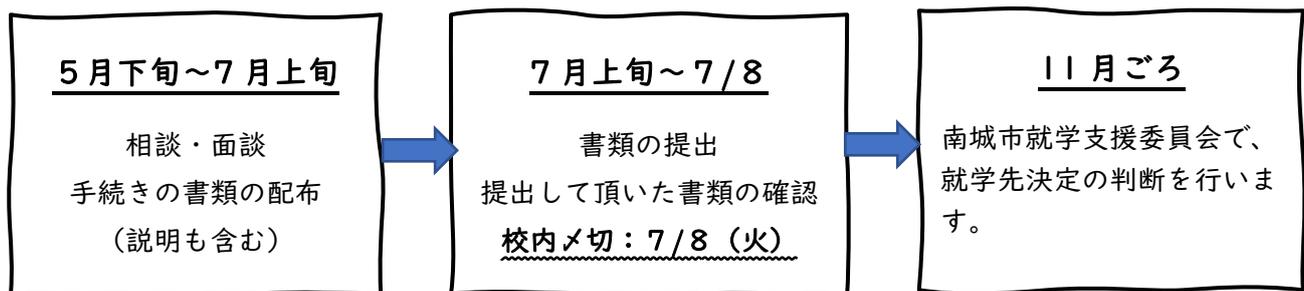
就学支援には、申し込みの期限があります。相談したいな、話を聞いてみたいなと考えている方は、学級担任か特別支援コーディネーターまでご連絡ください。(就学の申請を希望の方は、7月上旬までに申し出てください。)

☆教育支援ってどんなことをするの?☆

南城市教育支援委員会の委員が来校し、「発達検査」「行動観察」等の検査を行った上で「支援方針」を検討します。次年度の在籍は、「保護者の同意」を得て決定します。

教育支援委員会で「発達検査」を行いますが、「より詳しくお子さんの状態を把握したい」と思われる方は、「専門医の受診」をお勧めします。病院の予約を取るのに2～3ヶ月かかる場合もありますので早めの受診をお願いします。

☆「就学支援」の流れとその時期について☆



- 支援学級の継続申請：5月30日(金)までに学校へ申請書を提出
- 新規・措置替え・通級継続・通級終了の申請：7月8日(火)までに学校へ申請書を提出

※教育支援(就学)の手続きには、南城市教育委員会による発達検査の結果、または専門医の診断書が必要です。

※教育支援(就学)について相談したい方や、専門医の診断を希望される方は、学級担任または、特別支援コーディネーターまでご連絡ください。

